

すくすく

NO.47 平成24年4月1日発行

子どもの「いいところ」応援計画

金原 洋治

桜の季節になりました。入園や入学、進級おめでとうございます。子どもたちは、ワクワクしたりドキドキしたりしながらも新しい環境に慣れ元気に成長していくと思います。2月に、下関市小児発達研究会を開催し、『発達障がいを持つ子の「いいところ」応援計画』という著書で有名な阿部利彦先生をお招きしました。本と同じテーマでお話していただき大変感銘を受けました。障がいがある子は勿論ですが、障がいがない子の子育てや教育にも役立つ大切なことを教えていただきましたので皆様にもお伝えします。

子どもの「いいところ」を応援しよう

人はみな得意なことや苦手なことを沢山持っています。苦手なことをなくすることも大切ですが、得意なことを伸ばすことに力を注ぐ方がもっと重要です。大人が子どものできない部分を無くしたいという思いや、できてあたり前という思いが強すぎると、子どもは失敗を恐れるようになります。すべて改善すべき課題・直すべき課題と考えるのではなく、子どもが自分の良さを発見するサポートをしていくというスタンスが大切です。子どものいいところを探し、いいところに気づき、いいところを増やしていきましょう。いいところは成長しやすいし支援する側もやりがいがあります。

子どもへの見方を変えて

子どもの味方に

子どもの見方を変えると子どもの味方になれます。多動は活動的・活発、注意が散るは好奇心旺盛、こだわりは探究心旺盛、しつこいは粘り強い、単純は裏表がない、物をよくなくすは物に執着しないなどです。見方を変えたら次に環境を整える工夫をします。例えば、「十五分しか座れない。」と考えると叱ることが多くなり大人も子どももイライラしますが、「十五分も座っていられた。」と考え、座れる時間を伸ばす工夫をすると、大人も子どもも気持ち落ちついてきます。すると大人の側にもどんどんアイデアが湧いてきます。できることに気づき、いいところを増やしていけるようになります。

『チクチク』より『フワット』と『で笑顔が増える』とはを磨く

相手の態度や行動で気になることが多いと、質問責めや詰問風のチクチクしたことが多くなります。そうすると心や体がフリーズし何も言えなくなるか、うそをつくしかなくなり場の空気も悪くなります。逆に、フワフワした暖かい言葉が多くなると空気が和み笑顔が多くなります。

チクチクことばだと「こんなこともできないの」「そんないい加減なやり方ではだめ」ですが、フワットことばだと、「難しそうだな。トライしてみよう?」「〇〇したほうがうまくいくかも」「気にしないでいいよ。大丈夫。」という言葉に置き換えることになり、「いっしょにやろう。良かった

ね。「さすが、すごい。」という言葉も増えてきます。子どもを励ますことば・言われて嬉しかったことば・元気がでたことばを書き出し日々の生活の中でことばを磨くトレーニングを重ねていきましょう。

元気があればなんでもできる

誰もみな、うまくいかないことが続くと自分はだめだという気持ちが強くなり元気がなくなります。元気がなくなれば何も手につかなくなります。

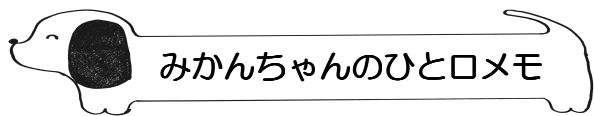
私たち大人は子どもに、自分のことはさておき「しっかり、きっちり、ちゃんと」を求めがちですが、子どもが「完全でなくてもだいじょうぶ、失敗しても大丈夫、自分は自分でいいや」と思えるように見守りましょう。そう考えたほうが、相手を受け止める気持ちの幅が広がり、心のストライクゾーンが広がってきて、子どもも元気になります。

「元気があればなんでもできる(アントニオ猪木)」と違って子育てをしましょう。

*参考文献

『発達障がいを持つ子の「いいところ」応援計画』
阿部利彦 著
ぶどう社





みかんちゃんのひとロメモ

今回は子育て中の2つのサポートを紹介します。

下関市ファミリーサポートセンター

育児の援助を行いたい人と受けたい人がお互い会員になって助け合うシステムです。

園や習い事の送り迎え、急用時の預かり、お母さんの気分転換のために子どもを短時間預けたい時など、幅広く利用できます。

事前の申し込みと打ち合わせは、「下関市ひかり童夢」を通じて行います。

(600円/1時間)

詳しくは下関市ひかり童夢(233-7632)までお問い合わせください。

*援助会員も募集中です。

病児保育所

小学校3年生までのお子さんが病気になっても仕事や親の病気、冠婚葬祭などで保育ができないときに利用できます。

市内に3ヶ所あり、事前に各病児保育所または市役所こども課での登録が必要です。

入所希望の際は、かかりつけ医から病児保育指示書をもらい、電話予約してください。

- ・すこやかルーム(うめだ小児科) 245-5691
- ・わかば病時保育所(昭和病院) 233-0548
- ・おひさまキッズハウス(青葉こどもクリニック) 256-2865

詳しくは下関市役所こども課(231-1353)までお問い合わせください。



生ポリオワクチンの予約が始まります



5月より生ポリオワクチンの接種が始まります。予約制ですので、受付にてお申し込み下さい。

お電話でも受け付けています。

予約開始 4月2日(月)

接種期間 5月7日(月)～
6月中旬

月火水金

時 間 14時～14時30分

定 員 各日とも17名

※接種前後30分間は飲食が出来ませんのでご注意ください



おすすめの絵本

『しげちゃん』

室井 滋 著

長谷川 義史 絵

しげちゃんは自分の名前が大キライ!

「だって男の子の名前みたいなんでもん…せっかく楽しみにしていた入学式も名前のせいで泣きたくなったよ」

みなさん 自分の名前は好きですか?

誰がどんな願いを込めてつけたか知っていますか?

ひとりにひとつずつ、もらえる大切なプレゼント。お子さんにも、どうぞお話してあげてください。きっと自分の名前が大好きになりますよ♪



栄養相談日

栄養士が担当します。子どもさんの栄養に関すること何でも相談してください。

時間 14時～16時

4月11日(水) 5月16日(水)

4月18日(水) 5月30日(水)

4月24日(火) 6月13日(水)

5月 9日(水) 6月20日(水)

夜間急病診療所のご案内

夜間の急病時には夜間急病診療所をご利用下さい。

場 所 下関市大学町2丁目(市大近く)

診療時間 19時～23時 電話番号 252-3789

院長不在のお知らせ

学会、講演や会議のため下記のとおり不在です。

5月12日(土) 終日不在(石本医師のみ)

5月22日(火) 14時～15時まで不在

(14時～15時は済生会の医師の代診です)

5月25日(金) 14時～15時まで不在

6月 2日(土) 11時30分～不在

(11時30分～12時は石本医師のみ)

6月8日(金)～9日(土) 終日不在

(石本医師のみ)

編集後記

寒い冬が終わって街中が色鮮やかになりましたね。

かねはら小児科も新メンバーを迎え、平成24年度の

スタートです。

ももくりさんねん

発行人 かねはら小児科 金原 洋治

山口県下関市生野町2-28-20

083-252-2112

HPURL <http://members.jcom.ne.jp/28149681//>